

「たかなみ」の中東派遣は憲法違反!

自衛隊員の「いのちの私物化」許さない!

二月一日(土)、横須賀ヴェルニー公園において「海自護衛官たかなみの中東派遣に中止を求める緊急行動」の集会(主催・神奈川県平和運動センター・三浦半島地区労)が開かれました。

「今回の派兵は『調査・研究』の域を超える重大な危険を冒すもので、日本が交戦国となる危険性があり、憲法違反につながりかねない」と訴えました。

二月二日(日)、多くの労働団体、市民ら約二〇〇人超が中東派遣に抗議、社民党副党首「福島みずほ」参議院議員も抗議の参加、会場はモノモノしい雰囲気の中行われました。

▽海上では市民団体「ヨコスカ平和船団」のメンバーが二隻の船に乗り込み、抗議行動をと、「中東に行かないで」と書いた横断幕を掲げて反対をアピールしました。

【たかなみ】

海上自衛隊の護衛艦。二月二日(日)、多くの労働団体、市民らの抗議の中、中東に派遣されました。約二〇〇人の自衛隊員らが乗船。防衛省設置法の「調査・研究」の規定に基づき自衛隊が長期間派遣される初めてのケースで、派遣期間は二月下旬から十二月二十六日迄。情報収集や不審船の警戒にあたるとなっています。明らかに憲法違反です。

激励のあいさつする高田健さん
(9条壊すな!総がかり行動実行委員会共同代表)



上は主催者を代表して挨拶する福田護
神奈川県平和運動センター所長、
左は福島みずほ社民党副党首・参議院議員



2隻のボートで抗議するヨコスカ平和船団、右は怒りで抗議する参加者



海上自衛隊の中東派兵阻止！ 戦争への道を許さない！



神奈川平和運動センター、三浦半島地区労センター
現地報告で訴えるヨコスカ平和船団の新倉裕史さん

一日(土)、ヨコスカ平和船団の新倉裕史さんは「自衛隊員の多くは、海外で戦争をするために自衛隊に入ったのではない、自衛隊を海外に送ることは憲法違反。自衛隊を海外に送ってはならない」など訴えました。

海上・岸壁から シユプレヒコールで抗議

参加者は出兵を前にする「たかなみ」に対し、海上から・岸壁から「護衛艦を中東に送るな」「政府は中東派兵をやめろ」「中東派遣は憲法違反だ」「自衛隊員のいのちを守れ」などシユプレヒコールで訴えました。

参加は三〇団体、二五〇名。

